

小学校プログラミング教育実践レポート

学習活動名	円と正多角形		
学年	小学校第5学年		
目標	直進や回転等の命令を組み合わせ、正多角形を作図するプログラミングを通して、正多角形についての理解を深める。		
教材タイプ	ビジュアル言語		
使用教材	プログル		
環境	児童1人で1台の端末を使用		
都道府県	徳島県		
実施校	小松島市立江小学校		
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	1 操作の仕方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ロボットに指示を出す方法を、一つずつ確かめさせる。 	
	ロボットに指示を出して、様々な正多角形をかこう。		
	2 問い1～7までの問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> 問い3の正方形を作図する際の指示を簡略化するために繰り返しの指示の説明を問い4で確認する。 問い5の正三角形の外角の求め方を、一つの角が60度の既習事項から求めさせる。 問い6・7の正多角形は、一つの角度がそれぞれ何度になるのか具体物で確認する。 	思 ロボットの視点に立ち、正多角形を作成する際に必要な、正確な指示を出すことができる。(発言・タブレット)
3 本時のまとめをし、様々な正多角形の作成に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 自分が正多角形を作図する場合と、ロボットに指示を出して作図する場合の違いについて考える。 		
成果と課題	<p>ロボットの視点で考え、指示を出し作図する楽しさや、的確に指示をしないと上手く作図できない難しさなどを学ぶことができた。</p> <p>能力差に開きがあり、普段からタブレットに慣れ親しむ必要がある。</p>		